

### 防災訓練を実施しました

6月5日、市内全域で防災訓練を実施しました。また、禾生第二小学校では、地域住民主導による避難所運営訓練も行われました。



今回の防災訓練は、北杜市（糸魚川・静岡構造線）を震源地としたマグニチュード7.0の直下型地震により、都留市では震度6弱を記録し、市内各地において甚大な被害が発生したとの想定で、市民、自主防災会、防災関係機関、行政機関など、それぞれの災害対応能力の強化と相互の協力体制を確立するとともに、住民による自主的な防災訓練を通して、地域防災力の向上と市民の防災意識の高揚を図ることを目的として実施しました。

この訓練では、従来市役所庁舎内に設置する「災害対策本部」を、市庁舎が被災したため、消防庁舎内に設置するという想定で行いました。また、禾生地域においては、禾生第二小学校を会場として、地域協働のまちづくり推進会が中心となり、地元住民や消防団禾生分団による避難所運営訓練と土

■(上) 消防庁舎内に災害対策本部を設置  
■(下左) 禾生第二小学校避難所運営訓練  
■(下右) 地域住民が避難所運営訓練を行いました



### 都留市役所から被災地支援のために職員を派遣しました

6月13日から7月1日までの間、一週間交代で被災地へ支援のために市職員を派遣しました。



東日本大震災に伴い、6月13日から市職員を被災地へ派遣しました。派遣先は、宮城県七ヶ浜町で、松島丘陵が仙台湾に突き出た七ヶ浜半島にある町です。日本三景である松島のある美しい町でしたが、今回の震災による津波で、大きな被害を受けています。市職員は、一週間ずつ交代制で2名〜3名を派遣し、現地の行政事務に携わり、被災地支援を行ってまいりました。6月13日には、第一陣、6月20日には第二陣が出発しました。

た。現地での詳しい状況なども、追ってご報告します。  
派遣日程  
6月13日〜17日 税務課1名 水資源活用課1名  
6月20日〜24日 税務課1名 水資源活用課1名  
6月27日〜7月1日 会計課1名 水資源活用課2名

■(上) 第一陣  
■(下) 第二陣

### 「グリーンカーテンを広めよう!!」 ゴーヤの苗の配布

5月29日、市内の公共施設において、グリーンカーテンのモデル事業を行うため、ゴーヤの苗を各協働のまちづくり推進会へ配布しました。



■ゴーヤの苗を受け取る、三吉地域協働のまちづくり推進会のみなさん。

先月号の広報でもお知らせしましたが、今夏は震災の影響により、電力が不足する見通しとなっています。この状況に対し、市では、行政と地域住民が一体となって取り組むため、市民協働によるグリーンカーテンの普及事業を実施します。この事業の実施にあたっては、都留市まちづくり市民活動支援センターが中心となり、市内各地域の「地域協働のまちづくり推進会」にもご協力を得る中で、市内の140家庭に「グリーンカーテンモデル家庭」として登録してもらい、その効果や感想などを報告してもらいます。また、インターネットのエコポータルサイト、「エコバラタウンつる」にある、「みんなでCO2CO2(コッソコッ)チャレンジinつるビーの森」(URL: <http://tsuru-co2.jp/mieu/>)を活用し、二酸化炭素排出量削減にも挑戦してもらいます。



### 水道週間PR事業 滝下浄水場の清掃と、つるビーによるペットボトル飲料水「つるの水物語『熊太郎の大好物』」の配布を行いました

6月3日、水道週間のPR事業として、都留文科大学前駅の駅前においてつるビーが「つるの水物語『熊太郎の大好物』」を配布しました。



6月1日〜7日は、「第53回水道週間」でした。この水道週間とは、水道の大切さについて理解を求める期間として、全国一斉に行われるものです。この期間中の6月2日、水資源活用課と都留市指定水道工事店組合とが共同で、滝下浄水場の清掃及び草刈を行いました。また、夕方からは平成の名水百選「夏狩・十日市場湧水群」内に位置する、富士山湧水である第一水源(通称 熊太郎水源)の原水をペットボトルに詰めた『つるの水物語『熊太郎の大好物』』を配布しました。

「つるの水物語」を、都留文科大学前駅の駅前において無料配布しました。ペットボトル水の無料配布は、本市のマスコットキャラクター「つるビー」が、多くの市民や大学生、また、市内に通う高校生など約150名の方々へ直接手渡し、おいしい水をPRしていました。

■(上) ペットボトル水を配布しました。  
■(下左) 滝下浄水場の清掃です。水道工場の皆様、お疲れ様でした!  
■(下右) 浄水場の様子です。